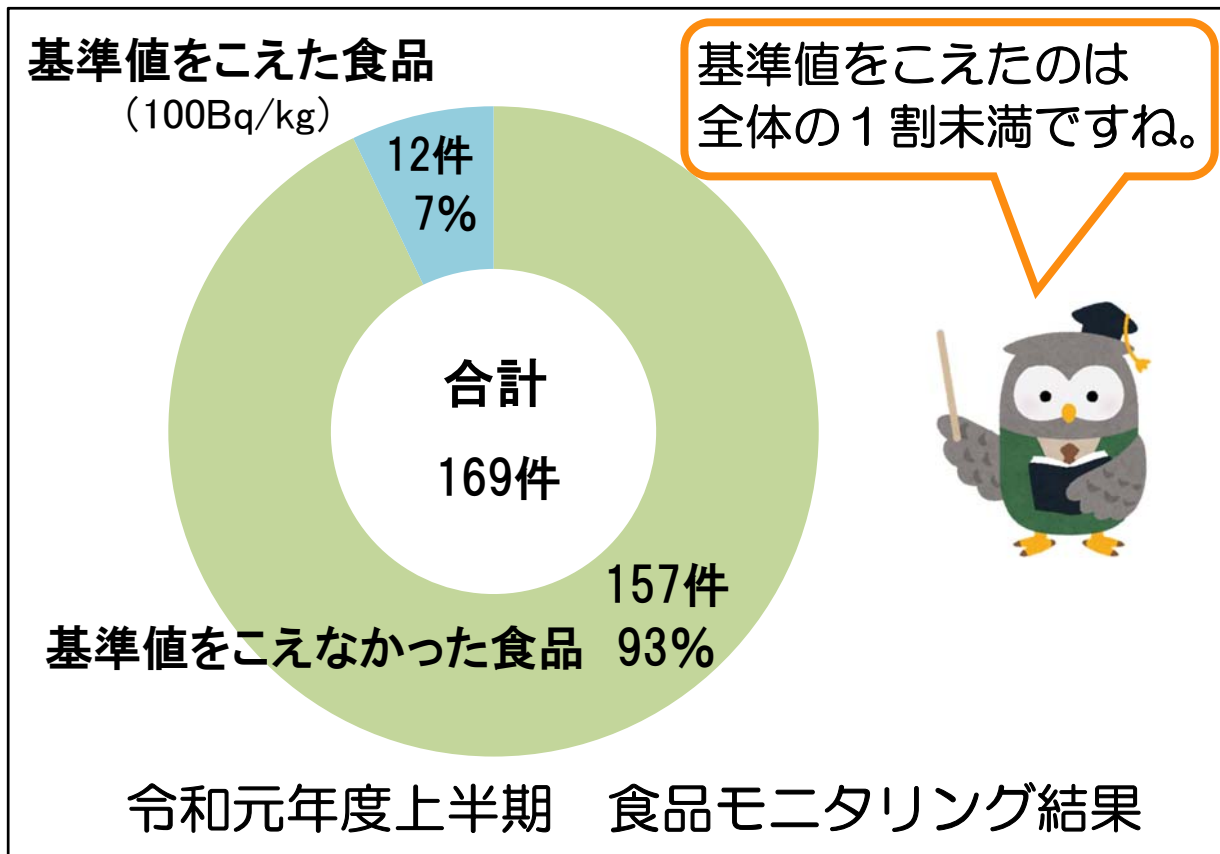




1

本年度上半期の食品モニタリング結果について

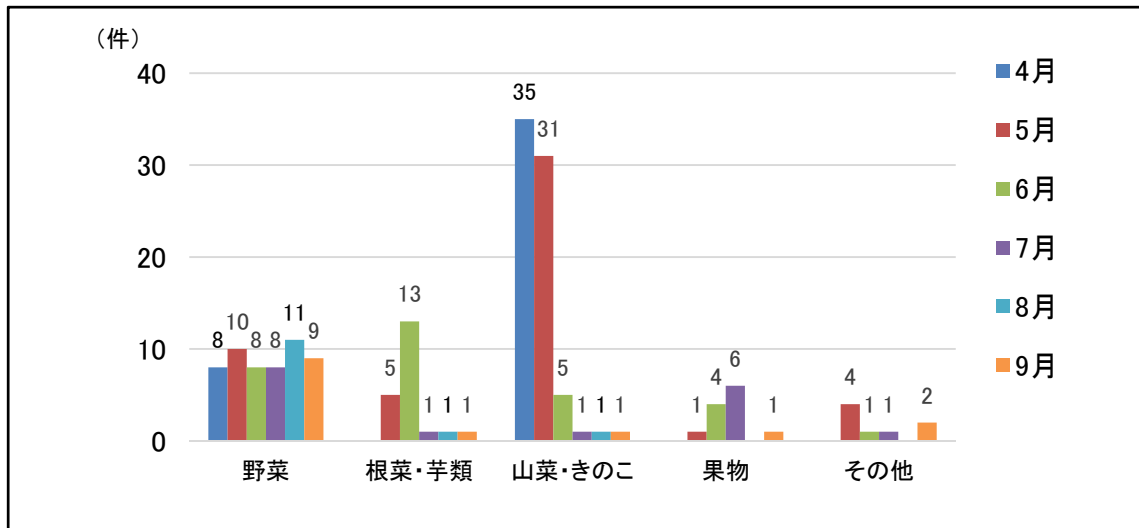
今回は、今年の4月から9月に実施した食品の放射能検査の結果についてお知らせします。



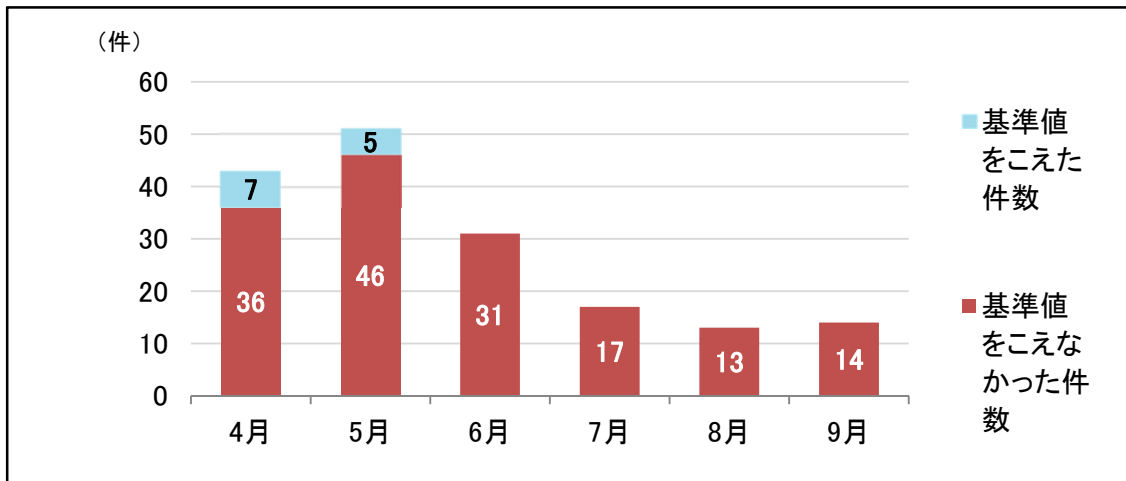
4月から9月の6か月間で169件の食品の放射能検査の依頼がありました。

検査の結果、放射性セシウムの値が基準値をこえたのは169件中12件でした。

種類別に、どの月に何件の検査依頼があったかを見てみましょう。



4～5月は山菜シーズンのため検査数が多いですね。それでは、基準値をこえた食品がどの月に何件あったか見てみましょう。



4月と5月のみに基準値をこえた食品があり、そのうち9割が山菜・きのこでした。

放射線簡易分析センターでは、いろいろな種類の食品を放射線検査することができます。食べる前に測定することで安心して旬の味覚を楽しむことができます。

食品のモニタリング結果総括表

(令和元年9月実施分)

【基準値】: 一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のない食品	検査数	基準値未満	基準値以上	備考 (基準値以上の品目)
野菜	9	9	0	
根菜・芋類	1	1	0	
山菜・きのこ	1	1	0	
果物	1	1	0	
穀類	-	-	-	
種実類	2	2	0	
魚介類	-	-	-	
加工食品	-	-	-	
飲料水	-	-	-	
その他(肉類など)	-	-	-	
総検査数	14	14	0	

食品モニタリング結果の詳細については、公民館1階の放射能簡易分析センターと放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

右のQRコードを読み取ったあと、東日本大震災→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。



場 所 公民館1階 放射能簡易分析センター
 曜 日 月曜日から金曜日(祝日を除く)
 受付時間 午前8時30分～午後4時30分まで

広野町各地区の放射線量

令和元年10月15日13時30分現在(天候:曇り)の町内各地区代表的な個所のモニタリングポストの数値をお知らせします。

測定箇所	放射線量率($\mu\text{Sv/h}$)	測定箇所	放射線量率($\mu\text{Sv/h}$)
広野小学校	0.09	広野町役場	0.09
広野中学校	0.07	高速バス利用者駐車場	0.14
広洋台地区集会所	0.10	上田郷橋付近 ^{注1}	0.12
二ツ沼公園 ^{注2}	0.08	北沢複合交差点	0.13
長畑地区集会所	0.11	県道広野～小高線沿	0.13
小滝平浄水場 ^{注2}	0.08	仮置場	0.10

注1 平成29年3月設置

注2 二ツ沼公園、小滝平浄水場のモニタリングポストは現地ではnGy/h(ナノグレイ毎時)で表示されていますが、 $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)に換算して掲載しています。

広野小学校の児童が放射線について学びました。

9月11日（水）、12日（木）、福島県立医科大学の熊谷敦史先生、後藤あや先生と一緒に放射線について学びました。

1・2年生

紙芝居を見ながら、放射線について勉強しました。大学生顔負けのたくさんの質問をしてくれました。先生とのやりとりも面白かったですね。

3年生

児童に好きな食べものを描いてもらい、食べ物の由来を考えました。山で採れた食べものは、検査をしてから食べると安全ということがわかりました。

4年生

給食センターで、放射性物質の食品検査の様子を見学しました。全ての食材の安全性を調べてから広野小学校の給食に使われていることを知りました。前日に調べているので、献立を変えないように工夫することもできるんですね。



5年生

校庭内の地点の空間線量を自分たちで測りました。毎年少しずつ値が下がっている理由を考え、放射線が身の回りのいろいろなところにあることも学びました。

6年生

社会への情報発信のあり方をタバコとお米のパッケージを例に学びました。福島のお米について何を伝えれば風評被害を減らせるかを考えました。すぐにでも売り出せそうなものもありましたよ。ところ変われば、私たちが加害者になる可能性があることにも気づきました。



発行者

広野町放射線相談室

080-9252-4773

広野町健康福祉課放射線健康相談係

0240-27-2113